



道の駅「風早の郷風和里」と愛媛大学との連携



平成29年から始動した愛媛大学社会共創学部との産学連携企画である「ふわり活性化プロジェクト」。道の駅の役割が変化中、元気に稼ぐ地域経営の拠点として道の駅の力を高め、魅力ある地域づくりに貢献すべく企画の検討・実践に取り組んでいます。当プロジェクトの活動が、道の駅の活性化はもとより、北条地域全体の活性化や地域の課題解決の担い手となる人材育成へ繋がるよう、これまで様々な取り組みを行ってきました。

ふわり活性化プロジェクト始動

道の駅と北条地域の活性化

現地を知る

H29年度 (H29.5)

○道の駅と地域を知るための現地踏査、模擬WSでの道の駅活性化方策の検討・提案



連携の試行実施

H29年度 (H30.2)

○道の駅と大学による連携の取組を試行的に実施
→道の駅定例イベント「柑橘まつり2018」への参加



連携の体制強化

○連携を継続するための仕組み
→講義と連動した取組の実施

R1年度 (R1.6)

○道の駅閉散期における新イベント「ふわたま祭」の企画・開催
→学生による企画検討、道の駅や地元農家への提案など

H30年度 (H31.2)

○「柑橘まつり2019」への出店

R1年度 (R2.2)

○「柑橘まつり2020」への出店
→参加学生数の拡大
→学生によるイベント運営サポート

■愛媛大学社会共創学部

愛媛大学は、7学部と大学院6研究科からなる四国最大の総合大学。社会共創学部では、様々な地域社会の持続可能な発展のために、地域の人達と協働しながら、課題解決を企画・立案することができ、地域社会を価値創造へと導く力を備えた人材の育成を目指している。

■道の駅「風早の郷風和里」

山と海に囲まれた自然豊かな場所にある道の駅。朝採れ新鮮野菜だけでなく、魚介類、手作りの惣菜や漬物など、バラエティに富んだ地元産品を購入することが可能。目の前の長浜海岸は、夏になると海水浴客で賑い、展望台から見える美しい夕日は、道の駅の自慢の1つ。



令和元年度 取組み内容：道の駅閑散期における新イベント「ふわたま祭」の企画・開催

- 道の駅が閑散期を迎える6月に道の駅の活性化を図るため、この時期旬を迎える地元農産物の「玉ねぎ」に着目した新たな連携イベント「ふわたま祭」を企画・開催。
- イベント開催に向けて、学生による企画会議や、道の駅・地元農家との企画講評会、玉ねぎ収穫体験などを実施。
- イベント当日は、玉ねぎを使った学生考案の商品を販売し、閑散期の道の駅の活性化や利用者との交流を図った。

ミッション

「閑散期の風和里を新規イベントで盛り上げる」

企画会議(大学講義)

- 地元玉ねぎ農家さんからのミニ講演を実施



- 閑散期の道の駅を盛り上げる新イベントの企画を検討



玉ねぎ収穫体験

- 地元農家さんの畑で収穫体験



企画講評会

- 学生が道の駅運営者や地元農家さんに企画をプレゼン
- 道の駅運営者や地元農家さんによる講評と企画の決定



試作報告会

- 各グループで開発した試作品を持ち寄り、みんなで試食



- 道の駅運営者も参加し、試作品に対してアドバイスを行う



「ふわたま祭」の開催

- 玉ねぎを使ったプリン、スムージー、串焼き、バーガーを販売



- 道の駅側では玉ねぎ詰放題コーナーを設置





令和元年度 取組み内容：道の駅定例イベント「柑橘まつり2020」への出店

- 道の駅で例年開催されている一大イベント「柑橘まつり2020」に愛媛大学ブースを出店。
- 愛媛大学ブースでは、学生が考案したみかんを用いた商品の販売やみかん足湯の提供を行うなど、来訪者へ心暖まるおもてなしを実施するとともに、道の駅が行う人気のふるまい（ししなべ・おしるこの無料配布）を学生がサポート。
- 出店を通じて、地元特産品である柑橘類を幅広い年齢層の方々へアピールすることで「柑橘まつり」を盛り上げ、道の駅の更なる活性化に貢献。

企画会議(大学講義)

- 柑橘まつりを盛り上げるための企画会議を開催



柑橘まつりに向けた準備

- みかんを用いた商品の開発
- 販促物の製作などの準備



「柑橘まつり2020」への出店

- みかん大福・みかんピザ・みかんバスボムの販売、みかん足湯のサービス提供
- 道の駅のふるまいを学生がサポート



県産材を使用した足湯桶を製作

- 柑橘まつりでのみかん足湯の提供に向けて、愛媛県「三浦保」愛基金を活用し、県産材を使用した足湯桶を製作
- 足湯桶の製作に当たって、森林管理者や地元大工職人とも連携



ミッション 「柑橘まつりを盛り上げる」